川通信
みずおと
157号
発行　令和６年　６月
編集　国土交通省 東北地方整備局
新庄河川事務所 鮭川出張所

令和６年度 重要水防箇所合同巡視

６月５日（水）・６日（木）に鮭川出張所管内の重要水防箇所合同巡視を行いました。過去に水害が起きた場所や起こる可能性のある場所を実際に点検して回りながら、万が一の際に迅速に対応ができるように対策工法の確認や情報交換を行いました。重要水防箇所は毎年見直しており、地形等の変化(法面崩れ、河岸の深掘等)や対策工事により増えたり減ったりします。そのため、出水期を前に各関係者（新庄河川事務所・最上総合支庁・金山町・真室川町・鮭川村・戸沢村・警察署・消防署・地元水防団）と合同で毎年巡視を行っています。



重要水防箇所とは・・・
洪水が起こった際に、堤防の安全性など、監視・巡視・水防活動において特に注意が必要な箇所のこと。

各巡視箇所　川口・上大渕堤防、泉田川堤防（県）、佐渡堤防、観音寺堤防、庭月堤防、真室川防災ステーション、真室川水防資材倉庫、平岡・新田平岡堤防、凝山堤防、津谷堤防、岩清水堤防、名高・松坂堤防

令和６年度 河川愛護月間

（期間：７月１日～７月３１日）

国土交通省では、地域のみなさんに河川愛護・水質保全への関心を高めていただくことを目的に毎年７月を「河川愛護月間」と定めています。きれいな川を維持できるように一人一人が気をつけて川を大切にしていきましょう。

河川水難事故防止 ～川で遊ぶ前に～

●川に行くときは、子どもだけで行かず大人と一緒に行きましょう。
●川は普段は穏やかですが、天候によって恐ろしい姿に変わります。天気や川の流れに十分注意しましょう。
●ルールやマナーを守り楽しく遊びましょう。



川に入るときの服装

- ライフジャケット着用
- ぬれてもよい乾きやすい服装にしよう
- ウォーターシューズ、バーシューズなど脱げない靴をはこう

※ビーチサンダルは脱げて危険



水辺で遊ぶときの服装

- 帽子をかぶろう
- 軍手をしよう
- 動きやすい服装にしよう
- ぬれてもいい歩きやすい靴をはこう

堤防モニタリング

堤防は洪水時に河川水が住宅や農地などへ流れ出すことを防ぐ最も重要な河川施設です。本格的な出水期を前に、鮭川出張所では5月9日・16日・21日・24日の計4回にわたり**堤防モニタリング**を行いました。

堤防モニタリングとは？

堤防は経年変化による老朽化や、出水等の自然災害により損傷してしまうおそれがあるので、実際に歩きながら点検を行うことです。



歩いてみる事で、色々発見することがあります。



堤防を歩きながら異変がないか確認します。



イタドリが群生している箇所に貫入棒をさし、その深さを確認することで堤防の土の強度を点検します。



地盤の状況を確認し、補修が必要か調べます。



イタドリは、草丈が高く、葉が大きく、群生しています。そのため日光がさえぎられて芝が枯れ、堤防が裸地化する原因になっています。また、根が深く四方に長く伸びるため、堤防の空洞化を助長したり、根をエサとするネズミやモグラが繁殖、巣穴ができることで堤防を弱体化させる厄介な植物です。

今月の風景

～ 鮭川出張所管内をめぐる ～

時代は大きく変化しても、止まることなく流れ続ける川。その川に沿って街をめぐり、その街の風景を紹介していきたいと思います。第３回目は金山町にある「遊学の森」を紹介します。







平成14（2002）年6月に全国植樹祭が開催され、県内外から12,000人の参加者を迎えた遊学の森は、豊かなスギ林とブナ林に囲まれ、四季の彩りが美しく、春の新緑、夏の昆虫採取やトレッキング、秋の山の幸、冬の雪遊びと、一年を通して森を楽しむことができる場所として親しまれているそうです。

お問い合わせ

国土交通省 新庄河川事務所 鮭川出張所
〒999-5203 山形県最上郡鮭川村大字川口字鶴田野3018-4
TEL 0233-55-3020　FAX 0233-55-3083

HP： http://www.thr.mlit.go.jp/shinjyou/
広報紙担当：齋藤・小野
広報紙に関するご意見・ご感想をお寄せ下さい。